

川越市教育委員会第11回定例会会議録

- 1 会議の場所 川越市教育委員会 教育委員会室
- 2 開 会 平成27年1月26日 午後2時
- 3 閉 会 平成27年1月26日 午後2時25分
- 4 出席委員 梶川牧子、長谷川 均、原田由美、長井良憲、伊藤 明
- 5 欠席委員 なし
- 6 委員長の職務を行った者 委員長梶川牧子
- 7 説明のため出席した者 教育総務部長横田 隆、学校教育部長小林英二、教育総務部副部長兼教育財務課長佐藤嘉晃、教育総務部参事兼地域教育支援課長芹沢雅一、学校教育部副部長兼教育指導課長佐野 勝、学校教育部参事兼学校管理課長中野浩義、学校教育部参事兼学校給食課長佐藤達次郎、学校教育部参事兼教育センター所長小熊利明、教育総務課長川合俊也、文化財保護課長忽滑谷達夫、中央図書館長澤田勝弘、博物館長田中 信、市立川越高等学校事務長御菩薩池和良

8 前回会議録の承認

平成26年度第10回定例会会議録を承認した。

9 報告事項

(1) 川越市立南古谷小学校増築工事設計業務委託の中間報告について

副部長兼教育財務課長

今年度実施している川越市立南古谷小学校増築工事設計業務委託の中間報告として、増築予定校舎の概要を報告する。なお、この内容については、平成27年1月20日に川越市議会へ報告したものであり、今後は学校関係者や地元住民に対して説明し、周知を図る予定となっている。

増築校舎の概要については、構造を鉄筋コンクリート造とし、3階建て延べ床面積1,913平方メートルを見込んでいる。また、増築により整備する各室であるが、普通教室については、既存校舎では将来のピーク時に3学級が不足することが見込まれていることから、3室を整備することとしている。次に特別教室については、現在の南古谷小学校において不足している教室など、8教室を整備する。最後に学童保育室については、現在2棟を設けて運営しているが、そのうちの1棟が老朽化、もう1棟が仮設となっていることから、今回の増築建物に含めて複合化として整備することとしている。

委 員

費用の見込み額について伺いたい。

副部長兼教育財務課長

増築工事の本体部分において、約7億8千万円を見込んでいる。

委員

普通教室については3室を整備するとのことだが、児童数にすると何名分の不足が見込まれているのか伺いたい。

副部長兼教育財務課長

児童数の増加のピークは、平成32年の1,087名を見込んでおり、現在の児童数と比較すると100名程度になると思われる。

委員

平成32年以降の児童数は減少するのか。

副部長兼教育財務課長

現時点においては、微減するものと見込まれている。

委員

平成32年以降は減少に転じるとのことであるが、増築の他に児童数増加への対策は検討したのか伺いたい。

副部長兼教育財務課長

増築の方針決定をする前に近隣校での受け入れの可能性について検討した。しかしながら、近隣校の牛子小学校においては、児童数が増加しており、寺尾小学校においては、通学に際してふじみ野市を通らなければならないとこなどの状況から受け入れが困難であるため、最終的に増築の方針決定をしたものである。

委員

今後は市全体としても児童数の減少が見込まれる状況においては、空き教室の利用方法も併せた検討が必要と考えるがいかがか。

副部長兼教育財務課長

児童数、学級数が減少し、将来にわたって空き教室と見込まれる教室を余裕教室と称しており、その余裕教室については、教育委員会内で組織する川越市立小中学校の在り方検討委員会において、活用の方法を検討しているところである。

委員

文部科学省が学校の統廃合の目安となる指針を見直したが、本市においては統廃合に該当する学校はあるのか伺いたい。

参事兼学校管理課長

現時点においては、統廃合が必要となる学校はない。

委員

霞ヶ関南小学校は1学級のみ学年があり、今後もそのような学校が増えるものとするが、そういった単学級について、教育面ではどう考えているのか伺いたい。

参事兼学校管理課長

単学級については、学習面やスポーツ面における序列の固定化が指摘される場合がある。一方で、一人ひとりに光を当てながらさまざまな面で活躍させることやき

め細かな指導等の面において利点があると考え。なお、単学級の弊害に対しては近隣の学校との交流等により取り除いていきたいと考える。

委員

児童数の減少においては、学級数を減らさずに1学級当たりの児童数を減らすことも考えられるが、この点についてはどう考えるか。

参事兼学校管理課長

きめ細かな指導の面においては、1学級当たりの児童数を少なくすることが必ずしも効果的であるとは考えていない。

委員

増築する校舎については、月越小学校のような従来の校舎とは違う建物になるのか伺いたい。

副部長兼教育財務課長

増築する校舎は敷地の広さに余裕がないこともあり、月越小学校のようにスペースを広く取った校舎を建てることは困難であるが、既存校舎の北側に位置するため、光彩を工夫することなどを予定している。また、図書室については広めにしてゆとりのある空間を確保できるよう考えているところである。

10 その他

- (1) 会議録署名委員として、長谷川委員長職務代理者、原田委員が指名された。
- (2) 次回教育委員会は平成27年2月9日（月）午後2時開催に決定した。